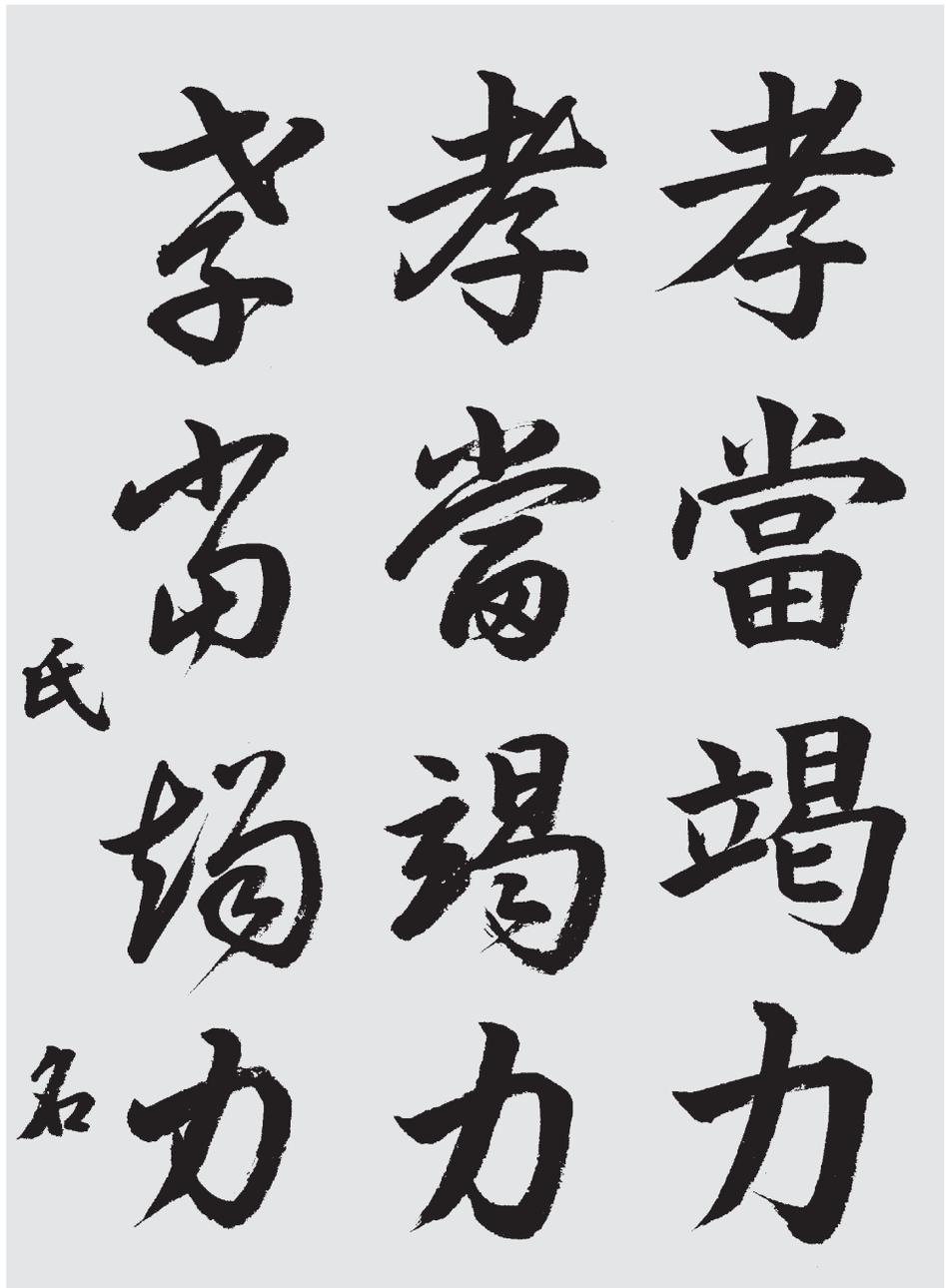


三体千字文を書く(63)

締切り 三月十九日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

孝こう當とう竭けつ力りき

忠ちゅう則そく盡じん命めい

父母への孝行には、力を尽くし

主君への忠義には、命をかけて尽くせ。

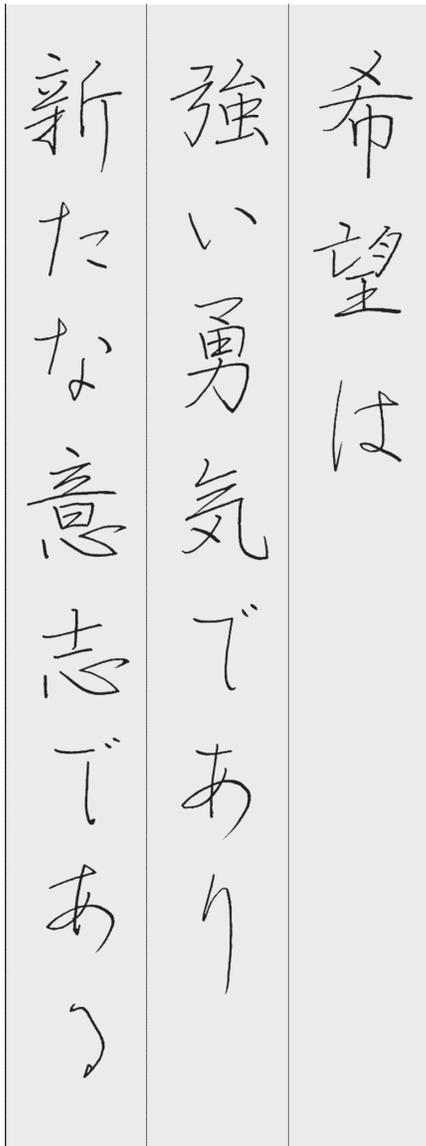
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

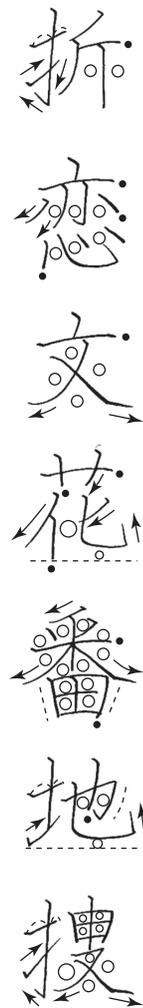


書光翠郷尾

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



書苑瑞田古

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆4月課題予告 (楷書)
 - 小利を見れば
 - 則ち大事成らず
 - 「論語」子路篇
- ▼教範・書範 行草または草書
- ▼師範 行書

★希望は：(書体 行書)
ルター(一四八三〜一五四六)
ドイツの宗教改革者
どんな厳しい環境にあったとしても、希望がありさえすれば、その人生を生き抜くことができます。人間にとって、希望がどんなに大切かを彼は説いています。
墮落したローマ教会と対立し、徹底的な反カトリック運動でドイツ宗教改革の指導者の人物として活躍したルターの言葉だけに、重みのある言葉です。

- ◆4月課題予告 (行書)
 - 好んで
 - 大言する者は
 - 必ず小量である

★二つ折りの：(書体 楷書)
ルナール(一八六四〜一九一〇)
フランスの作家
この言葉は「蝶」と題された一行詩です。花から花へとゆっくりと飛んでいる様子は、まさにこの言葉にふさわしく、夢、平和、ロマンがあります。このような眼で自然を眺める時、人は醜い人間社会の争いや戦争を忘れ去ることが出来ます。
物を物そのものとして見るのではなく、夢を膨らませて見る眼がいかにかに大切か、その眼が日常生活をいかに潤いのあるものにするかがよくわかります。

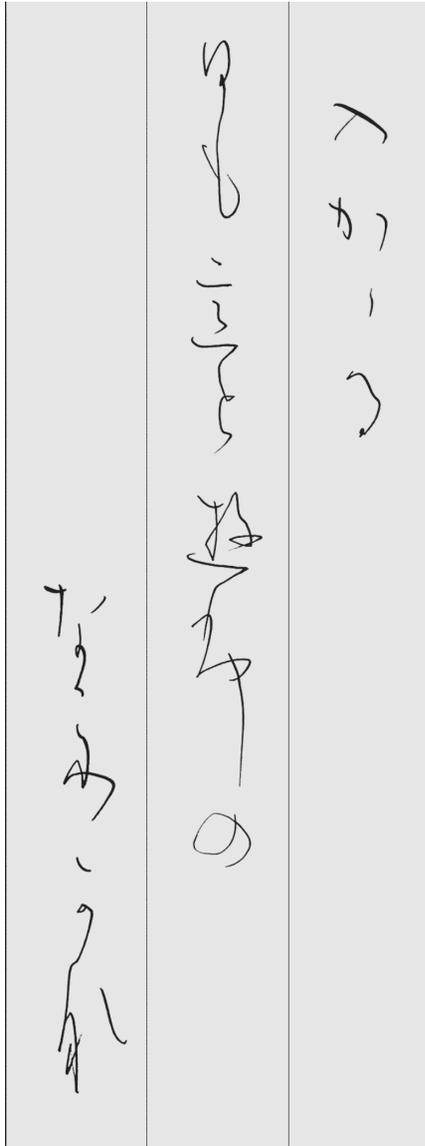
一般部かな課題

締切り 3月19日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

入かゝる日も糸ゆふの名残かな
意と遊布なこ利可那

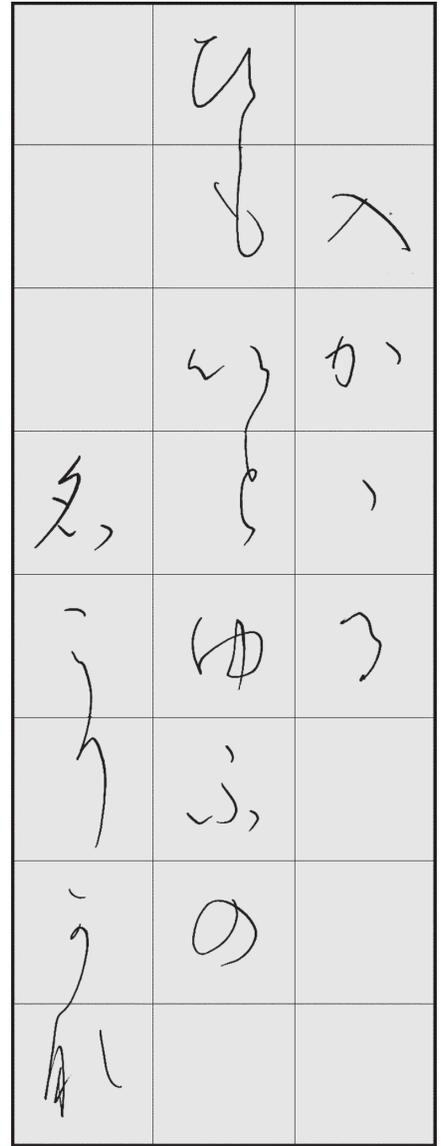


石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

入かゝる日も糸ゆふの名残かな
ひいとこり可那



石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

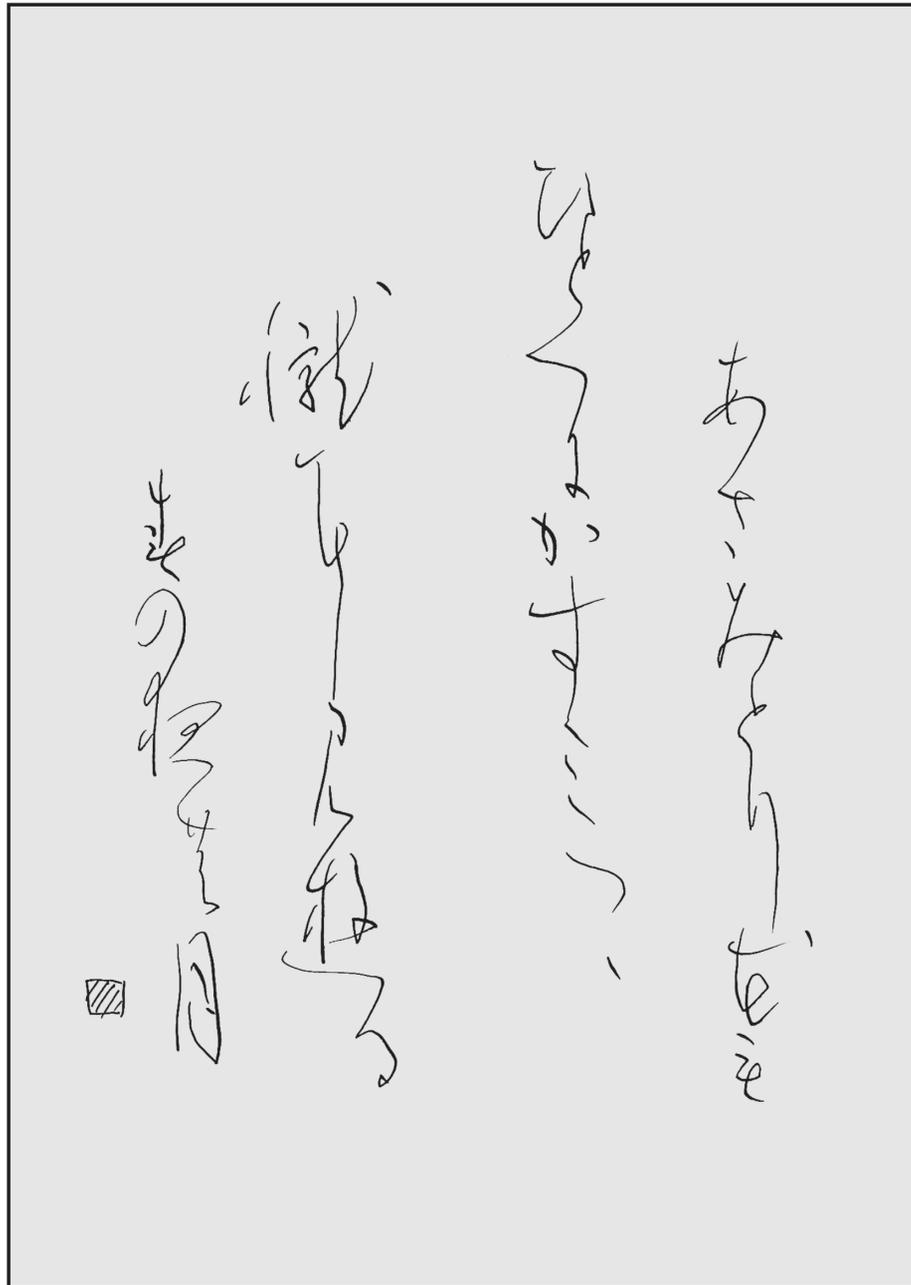
◆4月課題予告
 初ざくら折しもけふは能日也
はつざくらをりよけふはよまひなり

那な
 布ふ
 遊ゆ
 意い
 以い
〔古筆参考〕

入かゝる日も糸ゆふの名残かな
いりとこり可那
 (芭蕉句集より)
 〔出典〕初茄子、元禄二年三月、奥の細道の旅の途中、室の八島に参詣した時の句。
 〔作者〕松尾芭蕉。正保元年(一六四四)〜元禄七年(一六九四)俳人。名は宗房、別号は桃青・風蘿坊。
 〔大意〕日はまさに暮れんとしている。刻々と日の沈んでゆくにつれ、陽炎もまた薄れてゆく。入りかかる日が陽炎の別れでもあるの意。
 糸ゆふ―陽炎。
 〔解説〕筆庄は一の句と三の句の始めで加えた。変体がなをよく理解して書いて下さい。

締切り 三月十九日(必着)

大迫秀湖書



あさみどり花もひとつに霞みつゝ、
おぼろにみゆる春の夜の月

〔歌意〕薄青に霞のかかった空に花も一緒に霞んで、おぼろに見える春の夜の月を、わたしは素晴らしいと思います。
〔出典〕新古今和歌集(新潮日本古典集成)

〔古筆参考〕

毛も

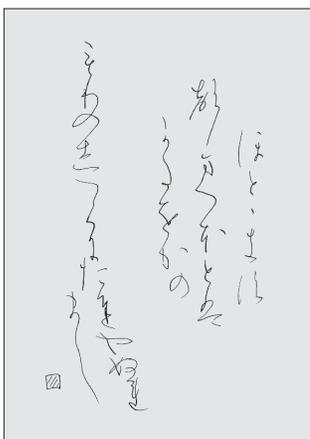
尔に

三み

耳に

遊ゆ

農の



◆4月課題予告

ほととぎす声まつほどは片岡の
もりのしづくに立ちやぬれまし

締切り 3月19日(必着)

穏やかな日差しに早い春を感じる
今日この頃、お健やかに過ごしの
ことと存じます。今年もお花見
を心待ちにして、桜の開花予想に
耳をそばだてています。いつも
場所でご一緒しませんか。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

穏やかな日差しに早い春を感じる
今日この頃、お健やかに過ごすの
ことと存じます。今年もお花見
を心待ちにして、桜の開花予想に
耳をそばだてています。いつも
場所でご一緒しませんか。

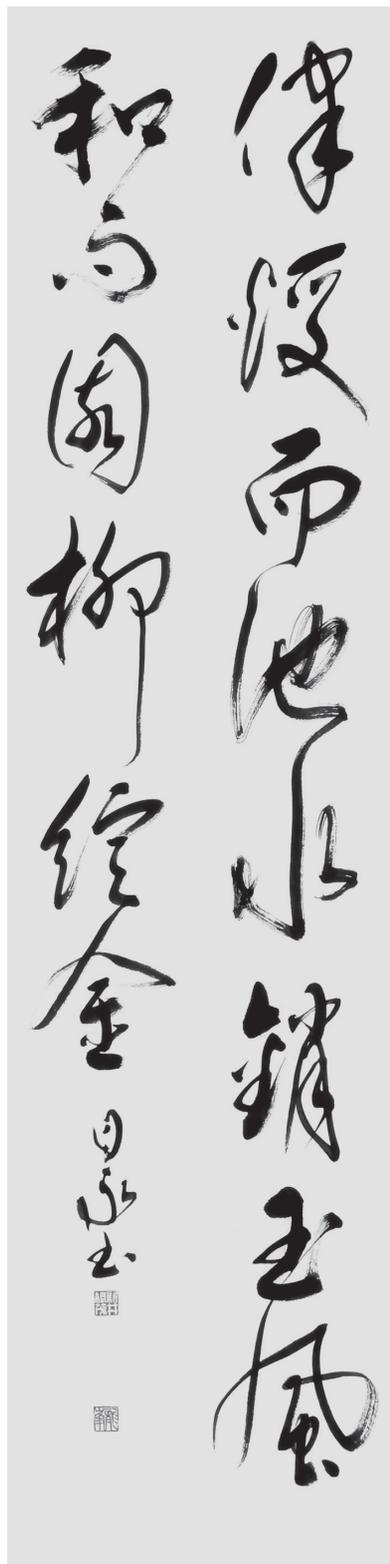
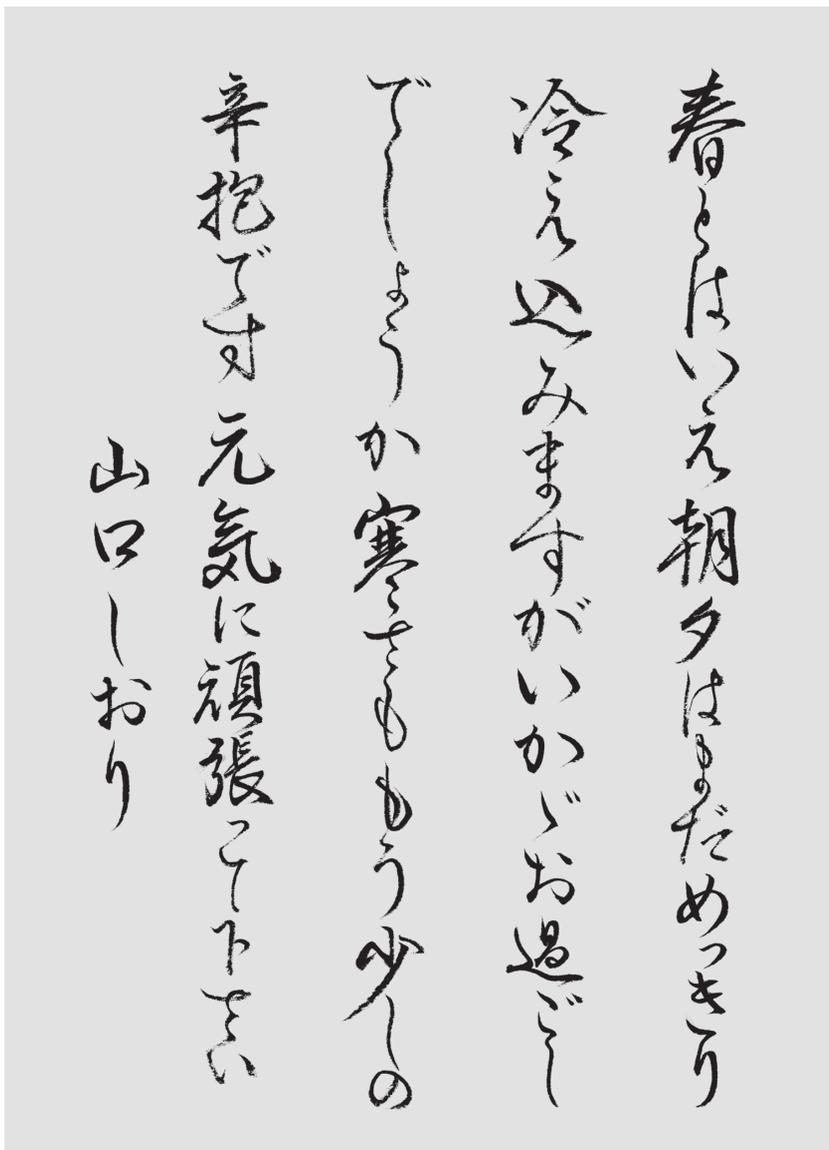
横書き課題

啓蟄は二十四節気の一つで、陽暦
の3月5～6日頃にあたります。
滋賀県高島市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 三月十九日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)

新井龍峰書

律煖而池水銷玉

和而園柳絵金

韓鄂

半紙 (334mm × 240mm)

書 香 梅 藤 伊

〔条幅解説〕

今月は雅印について、お話をさせていただきました。今の寒い時期ですと印泥も硬くなっていて、雅印への付着も思うようにならないと思います。このような時は、雅印と印泥はあらかじめ暖房器具等を利用して(暖め過ぎないように少し離す)から、押印したいものです。押印はあくまでも丁寧な。

- ・春とはいえ朝夕はまだめつきり
- ・冷え込みますがいかお過ごし
- ・でしょうか 寒さももう少しの
- ・辛抱です 元気に頑張ってください
- ・印で墨つきしました。(ご自分の氏名)

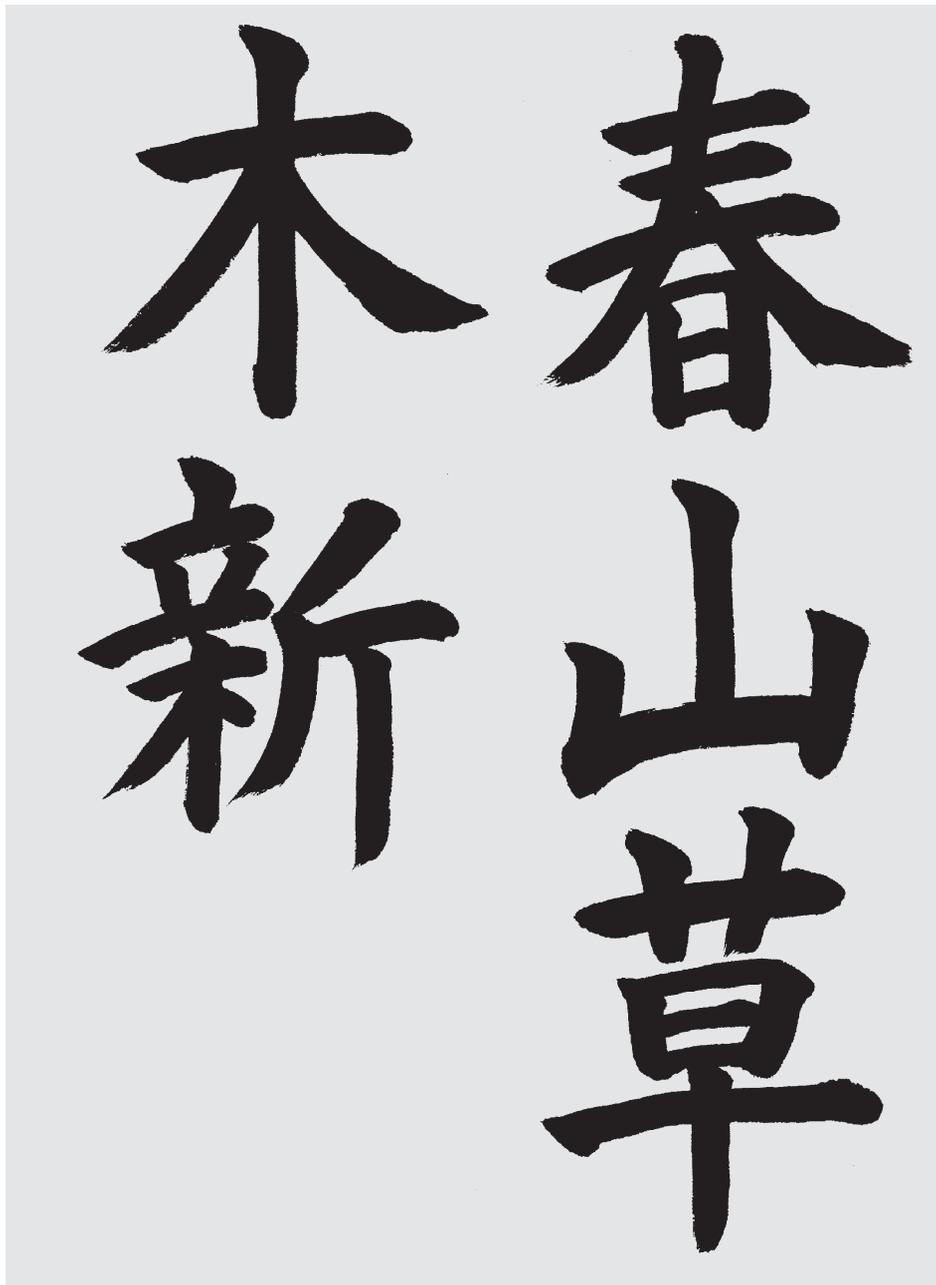
〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔大意〕春の時候となって暖かに池の水は解け、風は和らいで園の柳の芽は黄金色をしている。

初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

新入から1級まで(楷書)

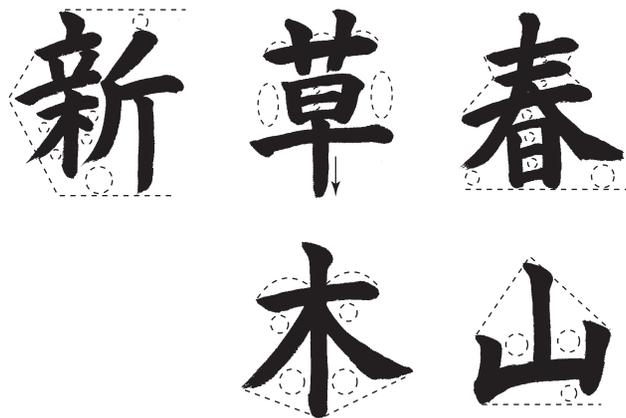


春山草木新
しゅんざんそうもくあらたなり

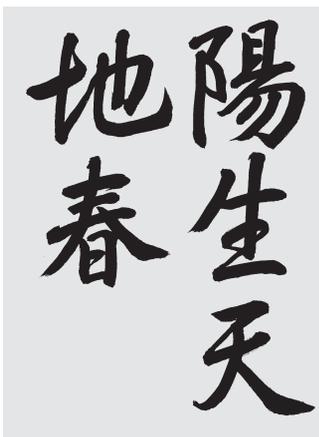
〔大意〕春の山は美しく、草木みどりに花咲くもありて清新である。

清
水
翠
芳
書

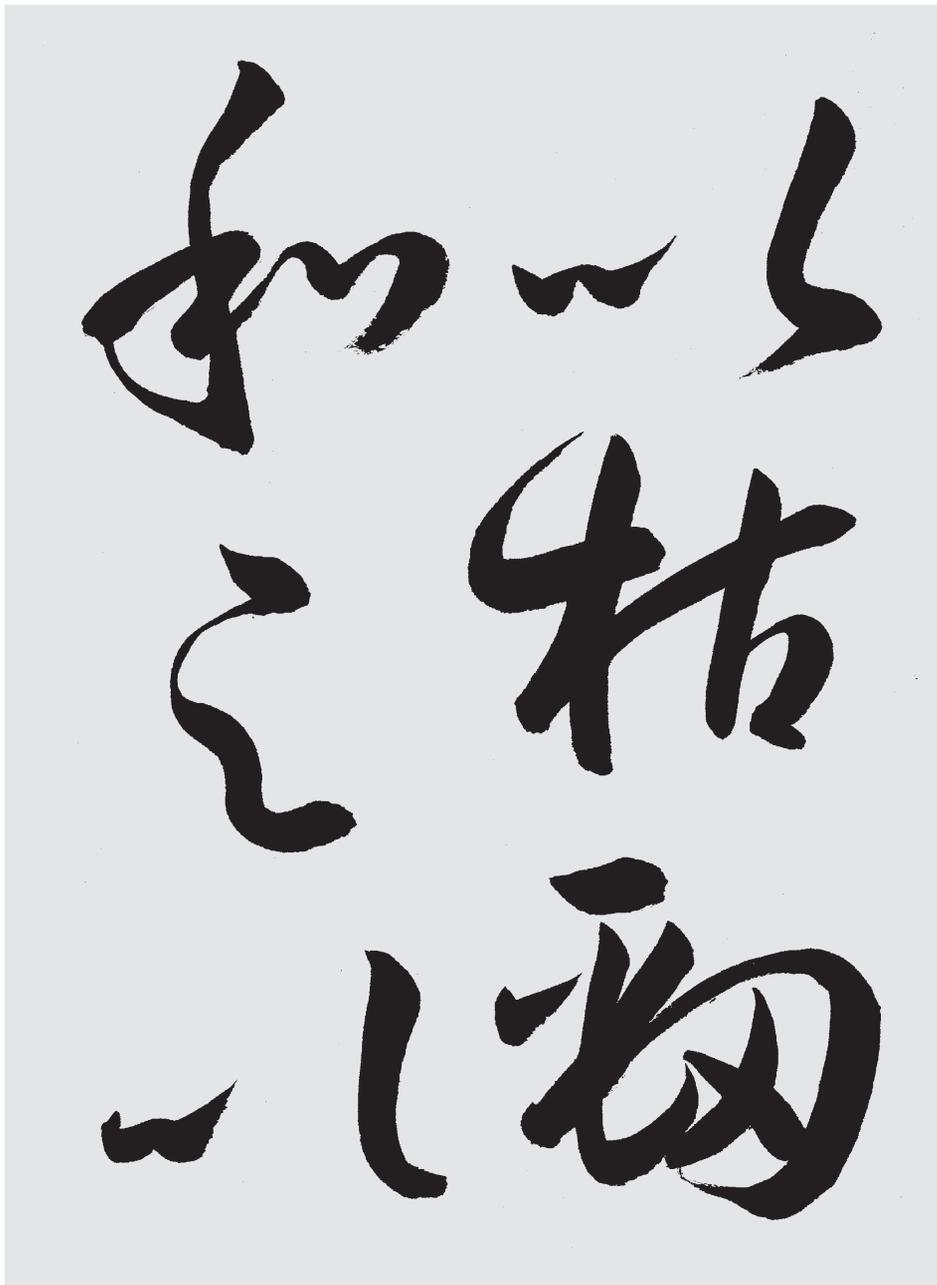
〔解説〕



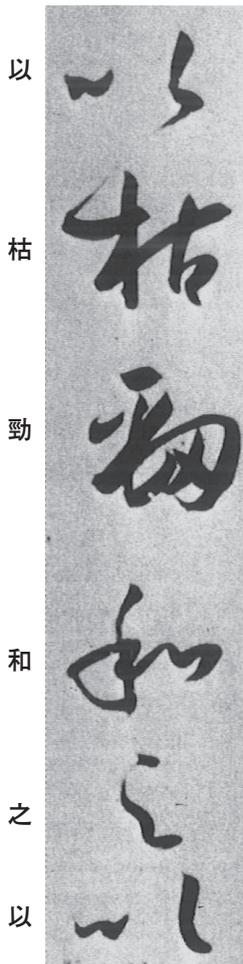
◆4月課題予告(行書)



準初段から師範まで



須田一葉臨



以
枯
勁
和
之
以

新舊
萬雉斯

◆4月課題予告

※文献によって字体が異なる場合があります。



〔解説〕

〔出典〕書譜(六八七)

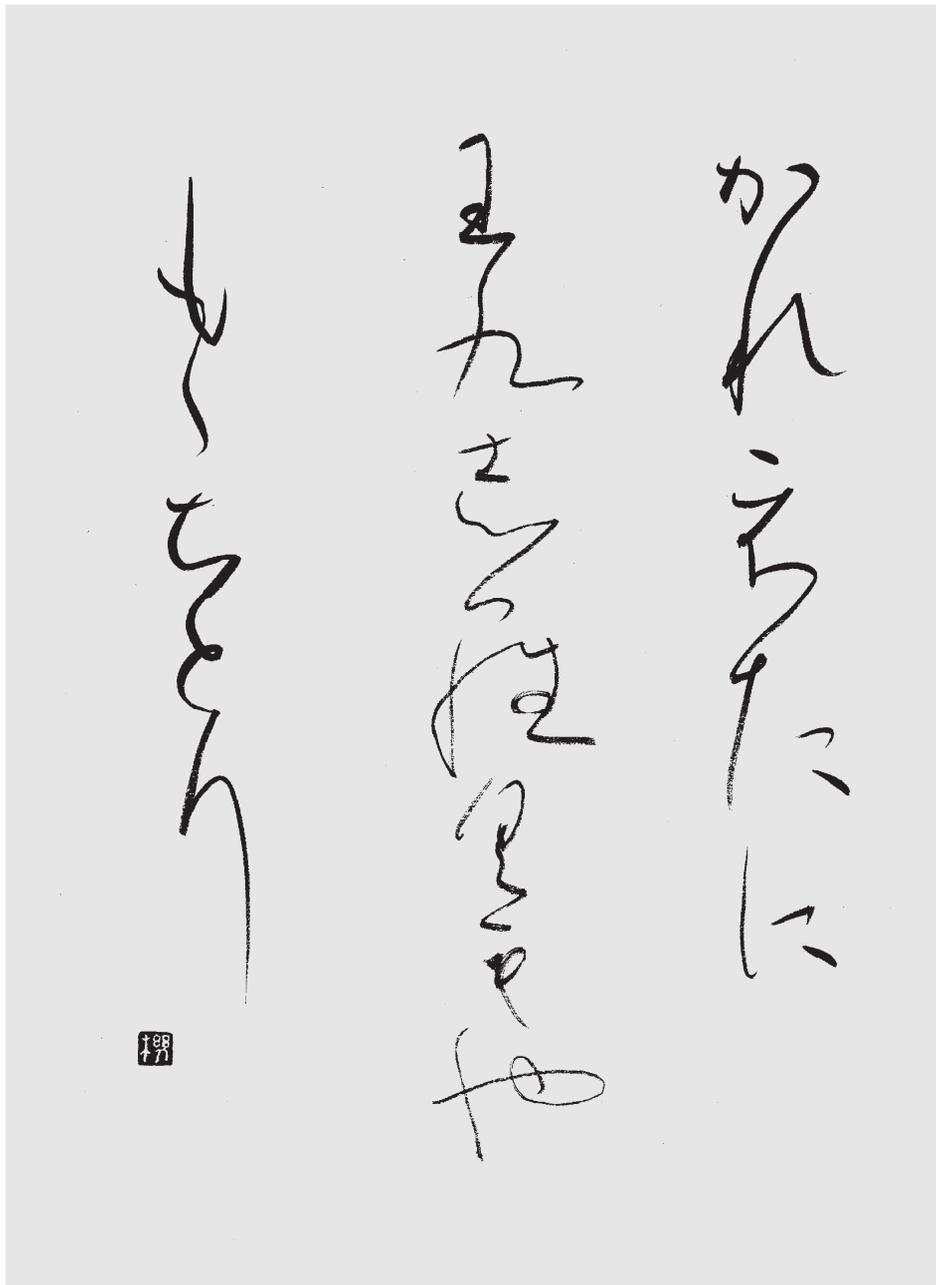
〔筆者〕孫過庭(六四八?~七〇三?)

〔読み〕枯頸を以てし、之を和するに

(閑雅を)もつてする。

新入から1級まで

浅井機山先生書



かれ^かれた^れ
枯枝に湧^わく^く白雲^{はくうん}や百千鳥^{もうちどり}

原石鼎^{はらいし}

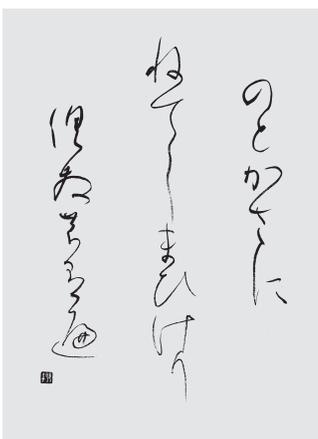
〔句意〕

早春の景である。木々はまだ冬枯のままであるが、諸鳥が囀っている。枯枝の向こうにわく白雲は確かな春の雲である。

〔古筆参考〕

志^し 志^し 志^し 志^し 志^し
羅^ら 羅^ら 羅^ら 羅^ら 羅^ら
具^く 具^く 具^く 具^く 具^く
毛^も 毛^も 毛^も 毛^も 毛^も

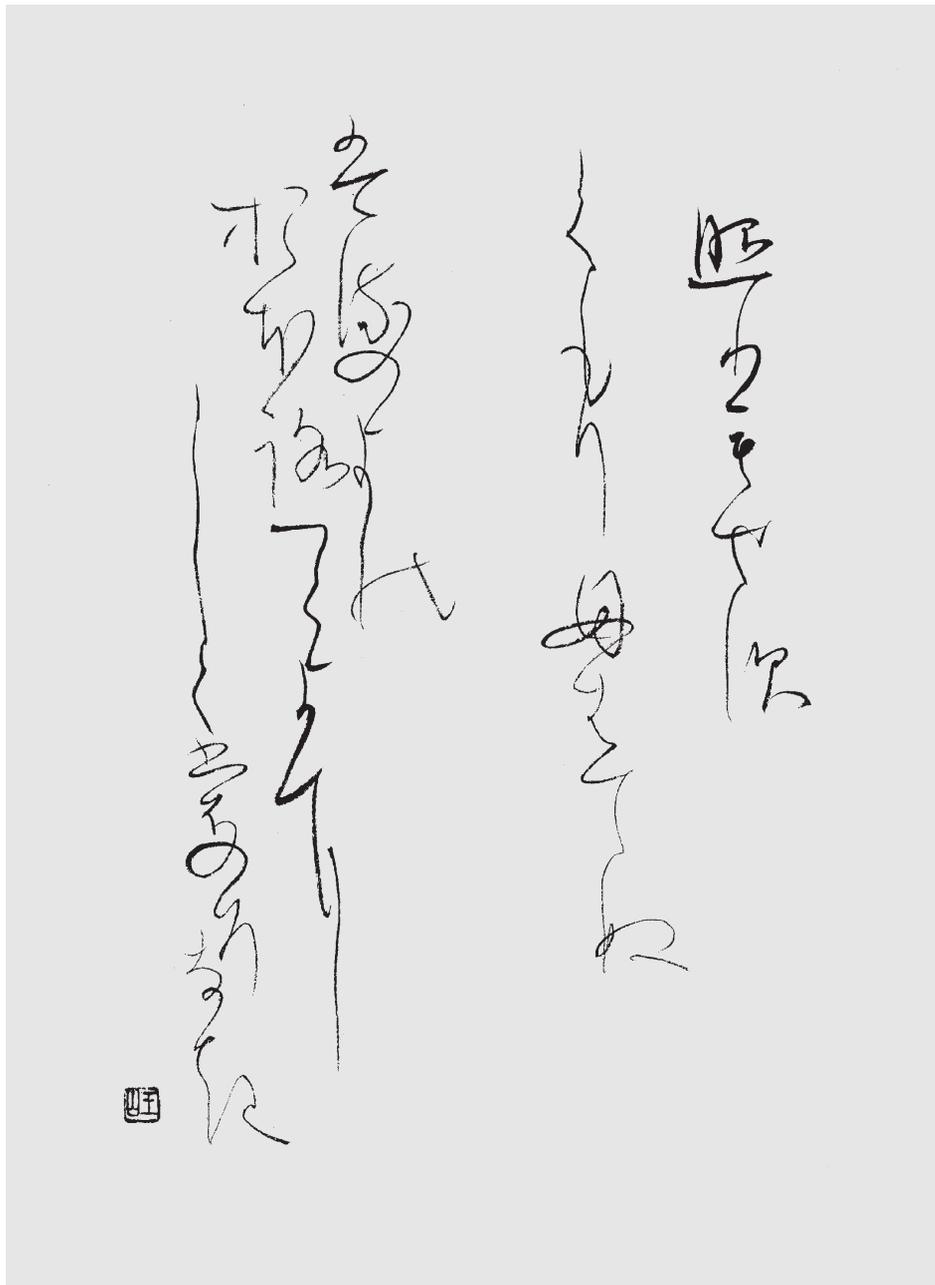
◆4月課題予告



のどかきに寝^ねてしまひけり草^{くさ}の上^{うへ}

準初段から師範まで

浅井機山先生書



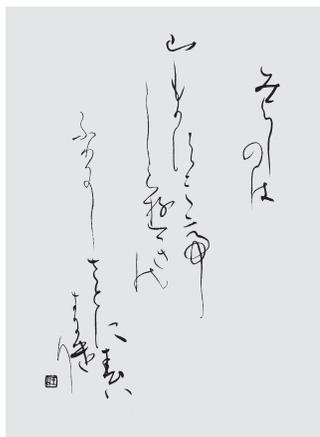
照^{利毛}りもせ^{須くも}ず曇^{母者}りも果^{盤流}てぬ春^{よ能}の夜^{曾奈起}の
おぼ^{おおえのちきと}ろ月^{於本路つくよ耳}夜^裳にし^{曾奈起}くものぞ^{曾奈起}なき

〔歌意〕 明るく照りもせず、また曇りきってもしま
わな^はい春^はの夜^はの、朧^は月の美^はしさに及^はぶもの
はない。

〔古筆参考〕

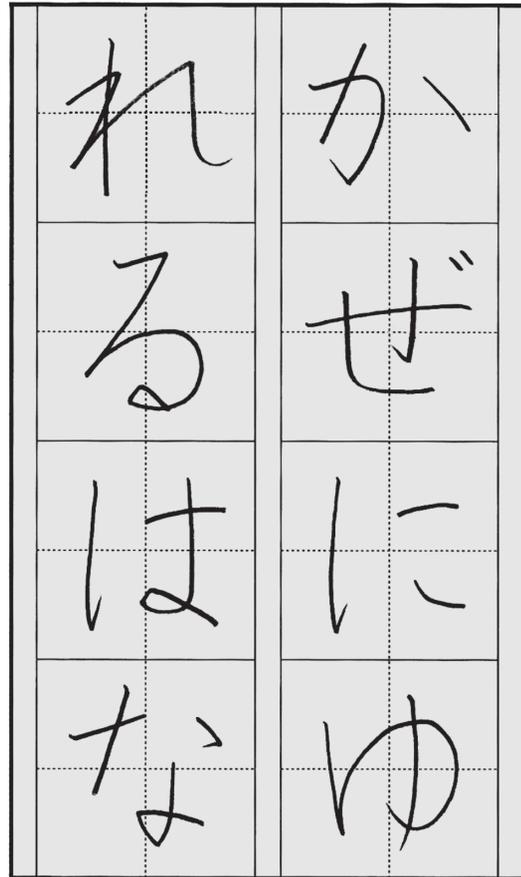
須^す 頃^{ころ} 頃^{ころ} 頃^{ころ} 頃^{ころ} 頃^{ころ} 頃^{ころ}
盤^は 冬^{ふゆ} 冬^{ふゆ} 冬^{ふゆ} 冬^{ふゆ} 冬^{ふゆ} 冬^{ふゆ}
流^る 風^{かぜ} 流^る 流^る 流^る 流^る 流^る
能^の 能^の 能^の 能^の 能^の 能^の 能^の
於^お 於^お 於^お 於^お 於^お 於^お 於^お
曾^そ 曾^そ 曾^そ 曾^そ 曾^そ 曾^そ 曾^そ

◆4月課題予告



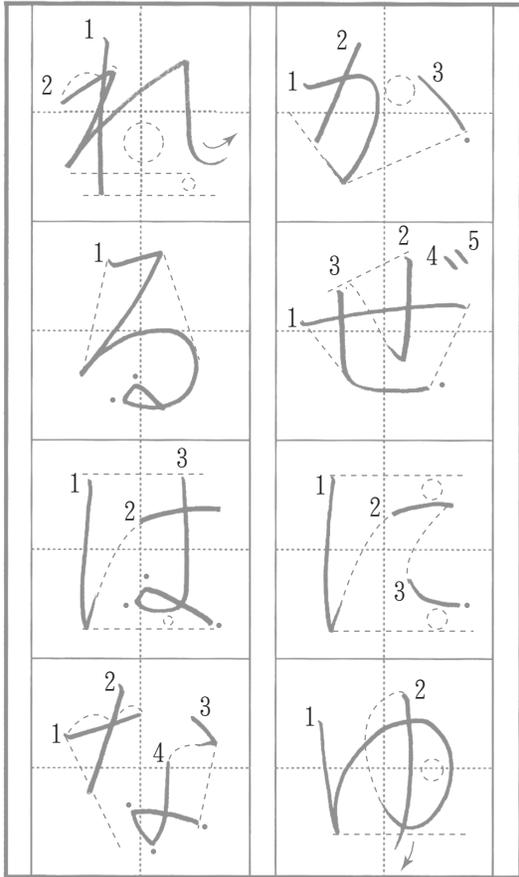
み^{よしの}吉^{やま}野^{かす}は山^{しらゆき}も霞^{はる}みて白雪^{はる}の
ふ^{はる}りにし^{はる}里^{はる}に春^{はる}は来^{はる}にけり

よ
う
年



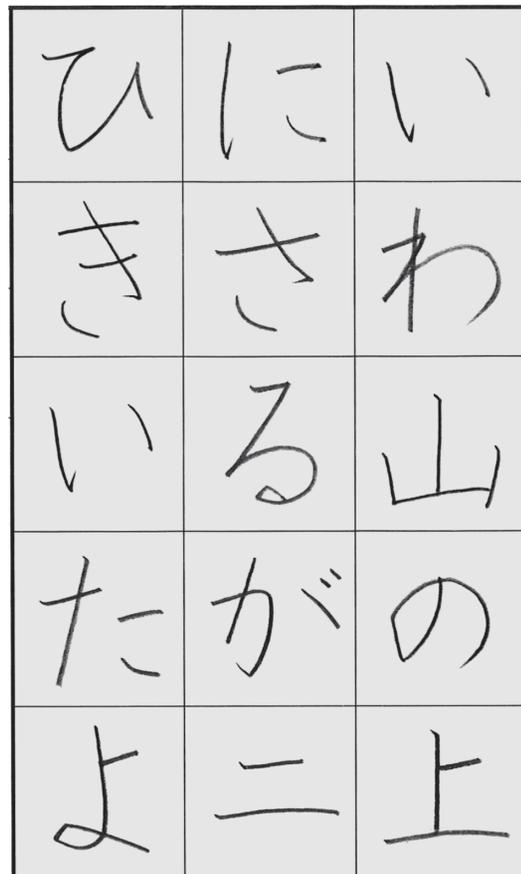
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

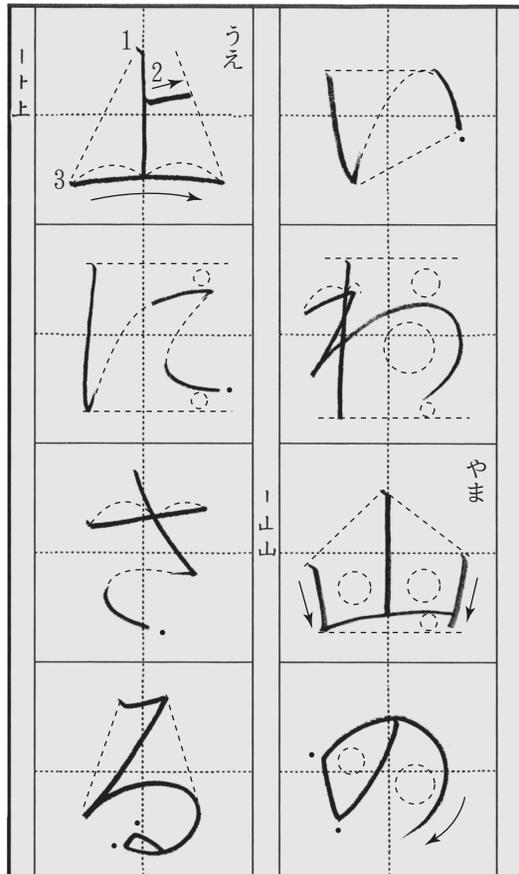
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入〜1級

準初段以上



幼年〜小三年まで
三
宅
容
玉
書

小二年

え	な	先
て	に	生
い	絵	は
る	を	み
よ	教	ん

準初段以上

新入〜1級

を	先
教	生
え	は
る	絵

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

小三年

動	て	お
物	い	り
を	ろ	紙
作	ん	使
る	な	つ

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入〜1級

動	お
物	り
を	紙
	使

〈用具〉自由(黒色に限る)

	、ノ必必必		かなら
	みず		
	の		つめ
	ンハム冷		

新入1級

水	必	運
を	ず	動
飲	冷	の
お	た	後
よ	い	は

小四年

準初段以上

小四年以上
前 堀 玉 華 書

	シヤ		ソツ
	ハキ		ギョウ
	もち		いわ(い)
	ウタ		カン

解説(よく見て習いましょう)

ち	感	卒
を	謝	業
歌	の	祝
お	気	い
う	持	に

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

用具自由(黒色に限る)

けつ 初潔	ケツ 系	つくえ 机	つ 机
キョウ 教	キョウ 教	まど 窓	ま 窓
シツ 室	シツ 室	お(とす) 落	お 落
		シ 清	シ 清

解説(よく見て習いましょう)

清	ご	机
潔	れ	や
な	落	窓
教	と	の
室	し	よ

小六年

(全員)

く	満	提
並	閑	防
木	の	沿
道	桜	い
が	咲	に

中二・三年

(行書)

指	た	彼
し	福	は
勉	社	充
強	を	実
中	園	し

中一年

(行書)

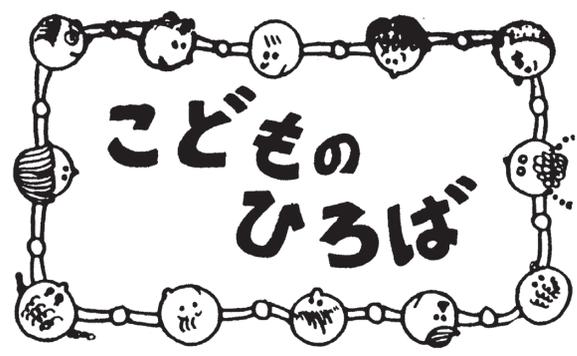
▼小三年以下の課題 で い み か 華 書

写 <small>しゃ</small>	い	母 <small>はは</small>	妹 <small>いもうと</small>	ひ	な				
真 <small>しん</small>	っ	の	と	人 <small>にん</small>	形 <small>ぎよう</small>				
を	し	ち	か	を					
と	よ	ら	ざ						
っ	に	し	り						
た	食 <small>た</small>	ず	つ						
	べ	し	け						
	て								

◎お手本はえんぴつ使用



- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



しめきり 3月19日（必着）

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 まし づめ せい こう 書

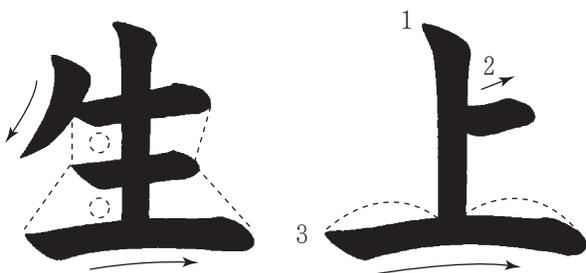
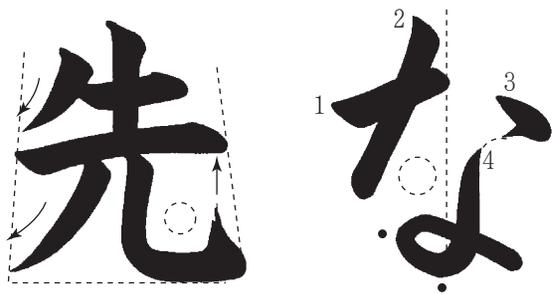
旅 <small>たび</small>	期 <small>き</small>	少 <small>すこ</small>	花 <small>はな</small>	春 <small>はる</small>					
立 <small>だ</small>	待 <small>たい</small>	し	の	の					
ち	に	ず	つ	優 <small>やさ</small>					
の	胸 <small>むね</small>	つ	ぼ	しい					
朝 <small>あさ</small>	膨 <small>ふく</small>	開 <small>ひら</small>	み	雨 <small>あめ</small>					
	ら	く	も	に					
	む								

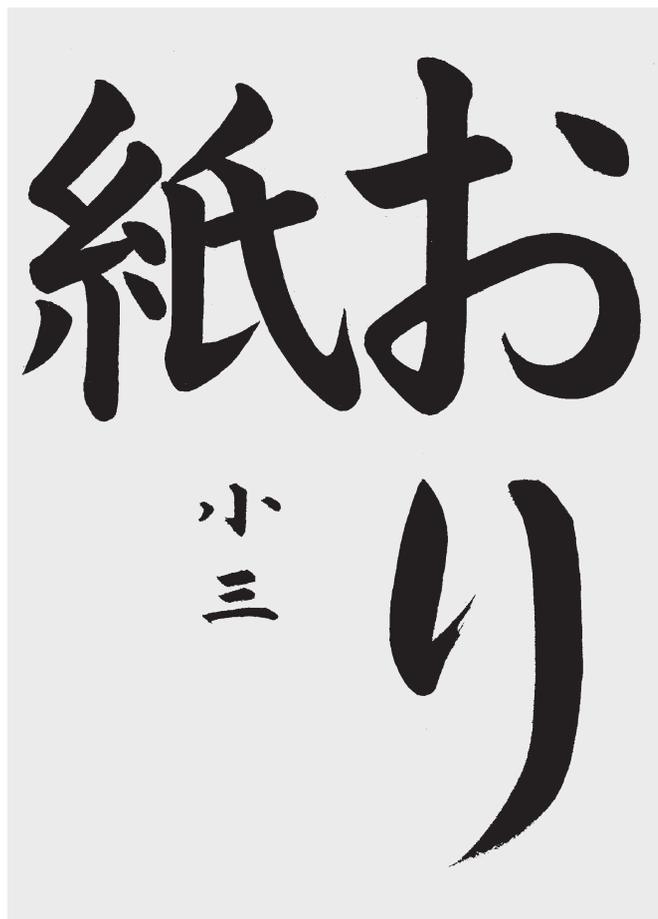
◎お手本はつけペン使用





幼年〜小二年
酒井智仔書





小三、小五年 柴田桃花書

中二・三
 並本道
 桜咲く

小六(中二・三年)

永谷恵子書

小六
 の教室
 机室

充 教
 桜 机
 咲 福

中一
 充実
 福祉の
 の